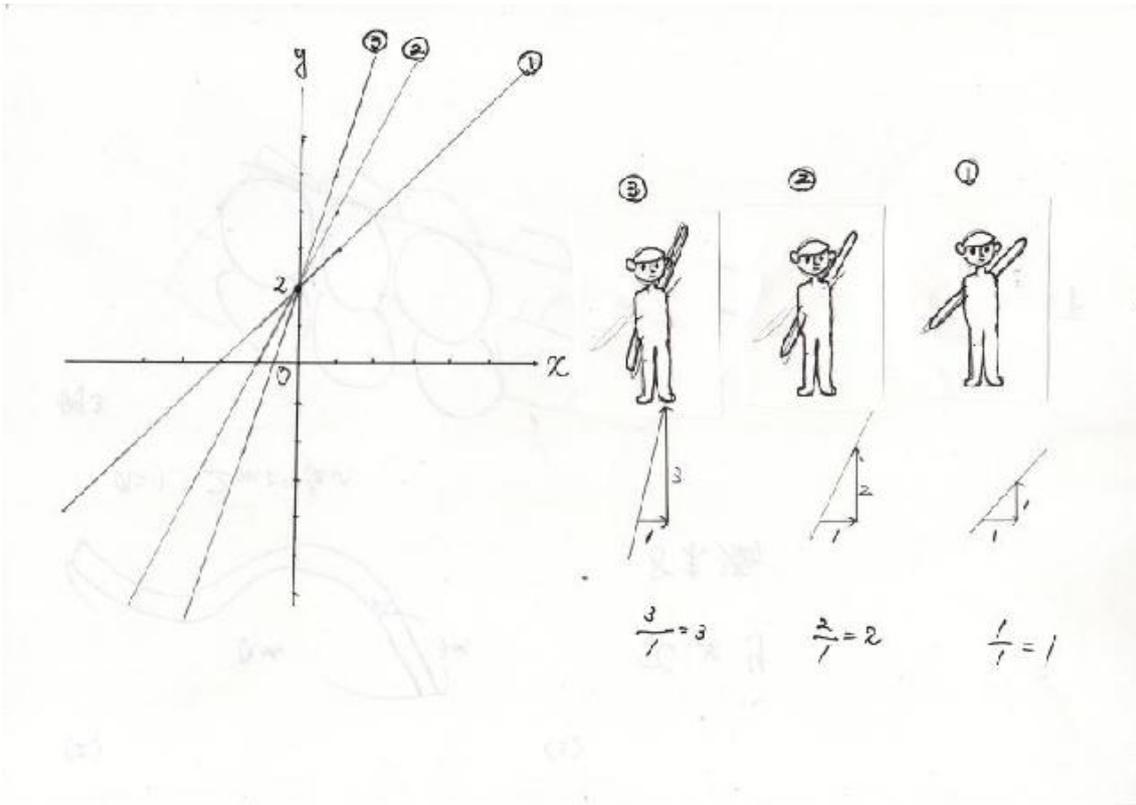


P 6 6 □直線の傾き

ひろげよう 「ひろげようを読んでください。」

- ① $y = x + 2$
- ② $y = 2x + 2$
- ③ $y = 3x + 2$

この三つのグラフを見てちがいを言葉で言いましょう。



さきに、共通点は？ 「うえに2ずれている」「切片2」
たしかに式の最後は +2となっていて これが切片ということ学習しました。

ちがいは 坂道と考えると、説明しやすいね。数学は左から右に見ます。

- 「①が一番・・・？」 「ゆるやか」
- 「③が一番・・・？」 「急」

右のようなポーズをした男の子を考えましょう。通称 傾き君

よこはば に対して たてはば が それぞれ 1. 2. 3となっているんです。
これで「ピッピッピッ」ときませんか？

$y = ax + b$ の a と一致している 「そうなんです。」
いま、みんなが考えたことを教科書は、次のように説明してくれています。

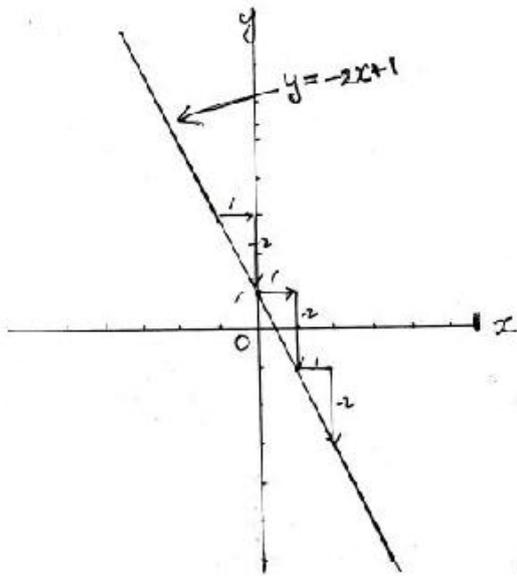
教科書P66 のひろげよう の下を読んでください。

こういう理由で a のことを **傾き** といいます。

例1 「例1を読んでください」

関数 $y = -2x + 1$ のグラフを書いています。

a の値は $-2 = \frac{-2}{1}$ だから傾き君 はどんなポーズになりますか？



$$-2 = \frac{-2}{1}$$

下 \wedge 2
右 \wedge 1.

したがって 一次関数 $y = ax + b$ の二つの数 a , b はそれぞれ
グラフの **傾き** **切片** という値を表しているのです。

問3 「問3を読んでください。」

「傾き、切片、そして右上がりか、右下がりかを教えてください。

傾き君をイメージするといいですよ」

(1) $y = 3x - 4$ 切片 -4 傾き 3 $3 = \frac{3}{1}$ 右に1上に3
右上がり

(2) $y = -x + 6$ 切片 $+6$ 傾き -1 $-1 = \frac{-1}{1}$ 右に1下に1

右下がり

(3) $y = \frac{4}{5}x - 1$ 切片 -1 傾き $\frac{4}{5}$ 右に5上に4
右上がり

(4) $y = -\frac{3}{2}x + 1$ 切片 $+1$ 傾き $-\frac{3}{2}$ 右に2下に-3
右下がり